

みなと舎のフリーペーパー

ひとびとのなかで暮らす・働く

支えあう・認めあう・助けあう・感じる・想像する・創造する

<http://www.minato-yuu.or.jp>

「ライフゆう」の序章

2014年春の開所に向けて「ライフゆう」の建築も順調に進んでいます。まだ開所前ですが、「ライフゆう」の物語は実はすでに始まっています。現場には「障害児「人生支援」の建物を構築する」というスローガンが貼られています。これは作業員の皆さんが考えてくださったそうです。ただ建物をつくるのではなく、そこには“想い”が込められています。

飯野理事長は毎日工事現場を訪れ、写真を撮っています。そして、現場所長の桑島さんに状況を伺ったり、差し入れをお持ちすることもあります。様子を見学させていただくと作業員の方々の苦労が分かり、感謝の気持ちでいっぱいになるそうです。

「ライフゆう」を創るのは、メンバーさんとスタッフだけではなくありません。関わってくださる全ての方と一緒に築いているのです。



「ライフゆう」は2014年春湘南国際村センターに開所の重心施設です オープニングスタッフ大募集です

社会福祉法人「みなと舎」の新しいチャレンジと一緒に参加しませんか？



問い合わせ

社会福祉法人 みなと舎

神奈川県横須賀市芦名 2-8-17

TEL: 046-855-3911

FAX: 046-855-3912 (担当: 山本・森下)

社会福祉法人 みなと舎

検索



たまごむし

VOL.03 2013 DEC



誰かを支え、
誰かに支えられている。
ゆうの毎日で感じることです。



福祉の現場というと、特別な場所に思われるかもしれませんが
ここはたくさんのひとびとの“日常”があつまる場。

メンバーさんとスタッフだけでなく地域の方々など
かかわってくださるみなさまによってつくられています。

同じ空間で一緒の時間を過ごす。
そして、気がつけばそれがお互いにとっての
“人生支援”になっているのです。

特集

「ゆう」ではたらく女性たち

女性にとって、20代・30代は
結婚や妊娠・出産等
さまざまなライフイベントが起こる
可能性があります。

「ゆう」ではたらくひとびとは
どのように仕事と家庭を
両立されているのでしょうか。
2人の女性にお話を伺ってみました。



支援スタッフ(ひかりリーダー) 富川朋子さん

母になり、リーダーにもなる

私は元々、知的障害者の福祉施設にて勤務をしていました。そのときに、第1子である長男を妊娠しました。以前の職場は夜勤もあったため働くのが難しくなっていましたし、子育てではじっくりしたいと思い退職することに決めました。

その後、約2年間出産と育児に専念し、子どもを保育園に預けられるようになったタイミングで「また働きはじめたい」と考えるようになりました。結婚後もずっと働いていたので、専業主婦の生活にどこか物足りなさを感じていたのかもしれませんが。

そこで、子育てとの両立でも無理なく働ける場所を探していた際に「みなと舎」の求人広告を見つけました。当時は、週3日か4日9:00~16:00の時間帯で働ける非常勤スタッフを募集していました。

非常勤スタッフとして勤務

2004年から非常勤スタッフとして週3日働きはじめました。その頃は、息子が2歳半でちょうど反抗期と重なり、朝の保育園への送りに手間取ったり、病弱だったので仕事を早退したり、休んだりしなくてはならないこともありました。そんな時もリーダーからの暖かい声かけと気配りで、何とか仕事と子育ての両立ができました。家にずっといた時よりもメリハリや緊張感があり、心地良かったのを覚えています。

「ゆう」で働きはじめて1年半たったとき、第2子の娘を妊娠していることがわかりました。力仕事は他のスタッフが進んで代わっていただけだったので、大変助かりました。妊娠7ヶ月目まで働けたのはスタッフのおかげです。

1度ゆうを退職し、出産と子育てに集中しました。しばらくして娘の子育ても一段落したとき、「また、ゆうで働きたい」と思いました。

メンバーさんの醸し出すほんわかとした雰囲気のある「ゆう」が自分にとって居心地が良かったんでしょうね。

復帰後は、これまで以上に気持ちを引き締めました。妊娠中周りのスタッフに支えてもらった分、少しでも自分のできることを頑張っていきたいと考えました。

そしてリーダーへ

そして、入社9年目には、「リーダーにならないか」というお誘いを受けました。リーダーになると常勤として働くことが求められます。勤務時間や日数が増えるので色々不安でした。

そんな時、背中をポンッと押してくれたのは、当時小学校4年生の息子の一言でした。「前向きに考えなよ。」

甘えん坊だった息子の成長を感じ、リーダーになることを決心できました。

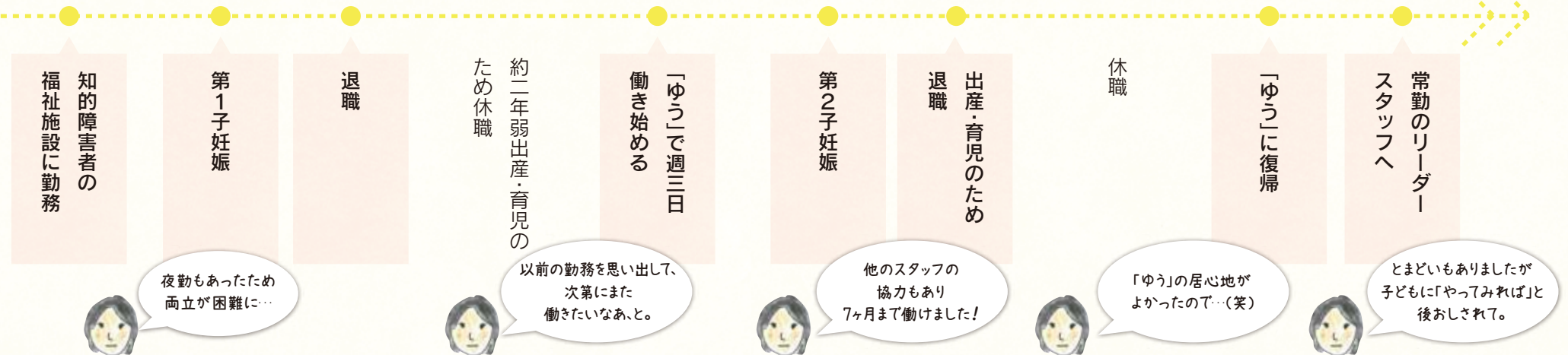
リーダーになってからは、週4日、9時から17時まで働いています。常勤となっても、子どもの学童のお迎えの時間は配慮していただいております。メンバーさんについて細かいことまで全て把握して、他のスタッフに伝えていかなければならないのは大変ですが、メンバーさんの笑顔やため息、嬉しい・悲しいといった様々な感情に共感していく仕事はやはり楽しく、「ここで働けて良かった」と感じます。

今後は、勤務時間や日数を増やしていき、メンバーさんと楽しむ時を丁寧に過ごしていけるスタッフになりたいです。もちろん、「お母さん」としての時間も大切にしていきます。



ゆうと共に歩む

“ライフ”と“ワーク”のスタイル変遷





支援スタッフ(現在産休中) 天野美香さん

はじめての“仕事”、“結婚”、そして“出産”へ

福祉の専門学校を卒業したのが21歳のときです。それから13年間ずっと「みなと舎」で勤務しています。

仕事を始めた頃は、他のスタッフは自分のお母さん世代の方が多くて、とてもかわいがってもらえました。一方で、みなさん子育てを経験していらっしゃる方がほとんどだったので、身体介助の仕事もテキパキとされていて、自分はそのスピードについていけないので焦りも感じていました。しかし、メンバーさんと年齢が近いという強みが自分にはあると思い、誰よりもメンバーさんの立場になって考えられるようになると仕事をしてきました。「人生が楽しくなるのならば、何でもしてあげたい」という気持ちでメンバーさんと関わり続け、楽しい時間を一緒に過ごしました。この楽しい時間が無くなってしまうのが嫌なので気がつけば13年間働き続けていました。

人生の先輩方に支えられてリーダーに

働きはじめてから7年目の時、「ひかり」というフロアのリーダーを任せられるようになりました。自分のような若いスタッフがリーダーになったにもかかわらず、周りのスタッフ

は協力して下さいました。

そして勤務10年目の時に結婚をし、約2年後の2013年2月に妊娠していることがわかりました。当時は何よりも不安の感情が大きかったのですが、周りのスタッフがとても喜んでくださったのを覚えています。仕事でも「リーダーなんだから座って指示するだけでいいのよ」と気遣って下さいました。

2013年4月からは主任として事務所にて事務の仕事をしていただきまして、8月から約1年半産休・育休を取得する予定です。

産休・育休へ

この長期休暇の前はこんなにまとまった休みは初めてだったのでなんだかワクワクしていましたが、最近は「仕事をしたいなあ」「みんなは今何をしているのかな?」と考える時間が増えてきたように思います。

出産後はそんなことも言えなくなってしまうくらいバタバタしそうですが(笑)

今後の目標は「ゆう」の他のスタッフのような「仕事と育児を両立できるお母さん」になることです。人生の先輩が周りには沢山いらっしゃるので心強いですね。

みなと舎ではたらく / スタッフインタビュー

「ゆう」ではたらくスタッフに、はたらくきっかけや仕事のいろんなことを聞いてきました!

Q1「ゆう」で働くきっかけは?

- 天** 知り合いからの紹介です。「はまりますよ」と言われました。
- 梶** 徒歩20分と家に近いことと、民生委員をやっていた母の紹介で知りました。
- 越** 以前はパン屋さんで働いていたのですが、「ゆう」で働いている友人より紹介されました。
- 尾** 前の職場の方がみなと舎の理事長に私を紹介して下さいました。

Q2 仕事のこだわり

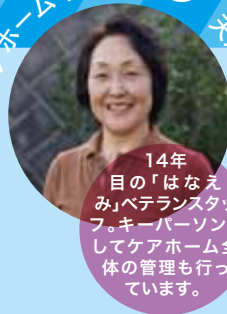
- 天** メンバーさんのペースにとことん合わせます。
私たちはメンバーさんによりよいサービスを提供するという自覚を常に持っています。
- 梶** メンバーさんの精神面・身体面の変化を察知できるように常にアンテナをはっています。創造力豊かにメンバーさんと接さなくてはなりませんね。
- 越** 「安全第一!」ですね。そのためにスタッフ同士声を掛け合うようにしています。
- 尾** 仕事のこだわりとしては、一見ただけですぐに内容が分かる見やすい書類を作成することです。

Q3 なぜ続けられるの?

- 天** メンバーさんのことがどんどん好きになっていくからです。
- 梶** どんなに体力的に疲れていてもメンバーさんにまた会いたくなるからです。
- 越** 仕事に行く元気ももらえます。優しい先輩方にもフォローしてもらえました。
- 尾** 仕事をする中で毎日に新しい発見があるからです。また、女性に囲まれて男性1人なのですが、あたたかい雰囲気の職場で働きやすいからです。

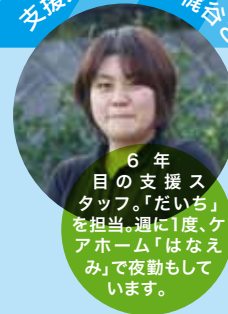


ケアホームキーパーソン 天川さん



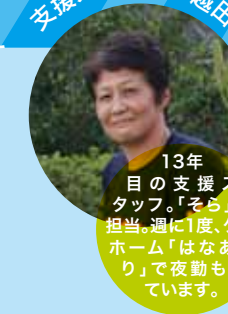
14年
目の「はなえみ」ベテランスタッフ。キーパーソンとしてケアホーム全体の管理もしています。

支援スタッフ 梶谷さん



6年
目の支援スタッフ。「だいち」を担当。週に1度、ケアホーム「はなえみ」で夜勤もしています。

支援スタッフ 越田さん



13年
目の支援スタッフ。「そら」を担当。週に1度、ケアホーム「はなあかり」で夜勤もしています。

事務スタッフ 尾池さん



今年
事務スタッフとして入職。週3日、女性に囲まれた「逆・紅一点」状態で働いています(笑)

Q4 仕事の「楽しさ」

- 天** 作った料理を召し上がった際、(味の好みにばっちり合い)すごく喜んでいただけたときです。
- 梶** メンバーさんと一緒に「楽しい」を共有できることです。
- 越** メンバーさんのご希望に「ど・ストライク」なことをできたときと実感出来たときです。また、そのときのメンバーさんの表情をみると嬉しくなります。
- 尾** 「明日はどんな仕事を任せてもらえるのだろうか」と考えるとワクワクします。「ゆう」に役立っていると実感できる時も楽しいですね。

Q5 仕事の「大変さ」

- 天** 感染症やインフルエンザ対策に注意を払う等の体調管理です。
- 梶** メンバーさんが体調を崩されたときに夜勤だと不安になることもあります。
- 越** 食事介助ですね。メンバーさんが食べづらそうにされているときは心配になります。
- 尾** 聞き慣れない言葉が多く、仕事を覚えていくのが大変でした。

Q6 メンバーさんへのメッセージを!

- 天** 「元気で楽しく暮らしていただきたいです。」
- 梶** 「(みなさんのしたいことに対して)正解ですか?」
- 越** 「(みなさんのご希望に)応えられていますか?」
- 尾** 「いつでも事務所へ遊びにきてください!」

Q7 今後の目標は?

- 天** 1年1年を大切に過ごしていこうと思います。
- 梶** 来年は介護福祉士合格したいです!
- 越** 健康管理に充分気をつけたいですね。
- 尾** スタッフだけではなく、メンバーさんとももっとかかわっていきたくです。

ご協力ありがとうございました!



「専門職」から見る 福祉の現場

理学療法士 根藤竜太郎さん

—理学療法士(PT)とはどのような仕事でしょうか。

一般的には、人が事故等なんらかの原因で体が動かなくなったとき、「身体機能」そのものを回復してもらうためのトレーニングを行ったり、それがうまくいかない場合は違う方向性を患者さんと一緒に考えていく仕事です。

例えば、事故で骨折をしてしまい、足の関節可動域が半分になった患者さんがいるとします。その患者さんが、生活上ある距離を歩きたい、という必要性を感じている場合、その方の関節が元の状態に近づくよう治療を行う直接的なアプローチと、歩行を少しでも補助する為の杖の使用を提案していく様な間接的なアプローチを併用していくことで、ご本人の希望に沿いつつ生活を支えていくような仕事です。

—「ゆう」でもそのような仕事をしているのでしょうか。

「ゆう」では、専門職はあくまで、主役であるメンバーさんとメンバーさんの生活を支える支援スタッフ「下支え」「影の仕事」なんです。決して表には出ないのです。支援スタッフの日頃のメンバーさんへのケアに対して、スタッフの疑問に対し専門性を生かして提案をしたり、スタッフと一緒に考えながら、メンバーさんに対し、生活に沿ったケアの方法を提供していくような仕事のスタイルです。

「主役・光」はあくまでメンバーさんと支援スタッフなんです。なので、メンバーさんが「楽しい生活」を送って下さる為に、PTとしての仕事以外に「エンターテイナー」的なことも行いますよ(笑)

—根藤さんは、他の施設で働かれた後、「ゆう」で勤務されているそうですが、「ゆう」の現場の特徴を何か感じますか。

他の施設でよく見られたのは、専門職同士の縦割りシステムです。専門職ごとに業務の範囲が決まっていて、範囲外のことはできない、やらないような規定がされていることが多いです。

「ゆう」ではPTの私も生活支援スタッフと一緒にすべての介助等の業務を行います。PTとしては異例のことだと思います。そうすることで、メンバーさんの「生活の全体像」を確認することができます。メンバーさん一人ひとり個性のある障がいの原因の分析が、たくさんの生活上の情報に基づいて行えることで、そのメンバーさんの生活により適したサポートができると私は考えています。

—来年度からは、「ライフゆう」で働かれるそうですね。どのような施設にしたいですか。

まず、「人がやめない」施設を作りたいです。「ライフゆう」にとってはメンバーさんの「人生」と同じように、働くスタッフの「人生」もとても大事です。一緒に仕事をしてきた仲間が辞めてしまうのはとても残念なことからね。

ですから、スタッフの体調ケアに気を配るのもPTの仕事だと考えています。例えば、移動介助のときの体の使い方をアドバイスすることでスタッフの腰痛を予防したり、専門知識の情報交換をすることでスタッフ一人ひとりが技術向上できるよう「下支え」的なサポートをしていけたら、と考えます。

同時に、支援スタッフがメンバーさんの為に何かをしたいと提案したとき、実現している職場環境を作り上げていきたいです。

「メンバーさんの生活・人生支援」を通じてスタッフ一人ひとりが「自身の仕事に対する充実感」を日々感じられるような生活空間、専門的な知識を持ってそれを「影ながら支えていく」のが私たち専門職の役割だと思います。

「ライフゆう」では現在、理学療法士の他に
薬剤師・栄養管理士・作業療法士などの
お仕事の求人も行ってます!



街で出会い支えてくれるひと

横須賀

大船

車いすでも入りやすいお店へ

今日はヘルシーランチです

雑貨屋や本屋を巡ります

甘いものは別腹!!

これから寒くなるからね...

駅ビルの前でパシャリ

大船駅到着!

ほいほい!

GO OUT!

本当は鎌倉散策の予定でしたが、台風26号が関東通過!のため、急遽ルート変更。一路大船駅のショッピングビルに向かうことになりました!

駅員さんが車内に誘導してくれます

よいしょよいしょ

おはようございます

横須賀駅到着!

電車はおでかけの楽しみの一つです

2013.10.18

YOKOSUKA ▶ OFUNA



みなと舎で会い支えてくれるひと



ゴスペルコンサート みなと舎ゆう

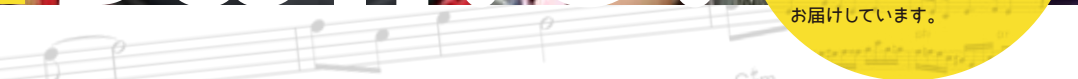
SWING!

YCC

ゴスペルクワイア

(まちづくり文化ボランティアグループ所属)

「横須賀ならではの本物のゴスペル音楽」をテーマに、横須賀米軍基地内の教会のゴスペルディレクタの指導のもと、パワフルに勇気と感動をお届けしています。



みなと舎では毎年、ゴスペル隊に来ていただいています。生のゴスペルはすごい迫力！メンバーさんは音楽が好きの方が多く、身体全体で聴き、楽しんでいます。



年に1度のゆうのお祭り！ゆうぷろオープンディ！

ENJOY!



ゆうプロ
オープンディ

年に一度開催されるゆうのお祭り、それが「ゆうプロオープンディ」です。地域の皆様への感謝を込めて、バザーやもちつき、模擬店や抽選会などが行われます。たくさんのお客様をお迎えし、ゆうもいつもと違った雰囲気。

ゆうでの働きかた、いろいろ

支援スタッフAさんの場合



毎日メンバーさんと過ごしながら、現場でのスキルをアップ!

他のスタッフと連携を取りながらメンバーさんの日常生活支援をしています。重い障がいを持っているけど個性のあるメンバーさんの生活の場所なので、私もその生活を楽しみながら、毎日やりがいをもって仕事してます!

日勤は9時から17時半まで。毎日色んな事が起こって楽しい!

休日は趣味のサーフィンをしに旦那と逗子へ。自然が近いって最高!

常勤
支援スタッフ
5days/week



支援スタッフBさんの場合



子育てしながら、資格を生かして仕事をしています!

以前は看護師として病院に勤務していたのですが、出産を機に仕事からは離れていました。まだ子どもが小さいので、基本的には子ども優先で、夫や両親の協力を得て、週3回働いています。

勤務日の前日は翌日のご飯の準備を軽く済ませ、帰宅後一気に作ります。週3回の勤務でもメリハリができて、私にとってはいい時間です。

非常勤
支援スタッフ
3days/week



支援スタッフCさんの場合



将来の夢に向かって!

看護師として病院勤務していたときに会ったアニマルセラピーに興味を持ち、今はその勉強をしています。「生活のための仕事」という面もあるのですが、なにより現場での学びの多さは、将来きっと役に立つと確信しているので(笑)、毎日楽しく過ごしています。

昼間はセラピースクールの日もあるので、日勤と夜勤の合間を縫ってシフトを組んでいます。休みは鎌倉でヨガ教室に通ったりと充実しています。

非常勤
支援スタッフ
3days/week



2014年春開所の「ライフゆう」では、働くスタッフを様々なカタチで応援します!

子育てを応援します!

- 就学前の「託児所」を施設内に設置予定です
- 軽度のお風邪や病後の回復期にあるお子様もお預かりします

住まいについて応援します!

- 単身で、近くにお住まいを検討している方のご相談をお受けいたします
- 借家の契約者については、住宅費の1/2を住宅手当(最大30,000円)として補助します

学びやスキルアップを応援します!

- 准看護師から正看護師へのスキルアップを応援します
- 各種研修・資格取得について、勤務日の相談及び一部助成を検討しています

マイカー通勤応援します!

- 駐車場があります(駐車場への送迎検討中です)
- 通勤手当実費を支給します

働き方を応援します!

- 暮らしに合わせた働き方についてご相談をお受けいたします
- あなたの生活設計に合わせた勤務を一緒に考えましょう

通勤について応援します!

- 逗子駅・新逗子駅・汐入駅から国際村までの定時送迎運行を予定しています
- 送迎ルートにお住まいの方は、途中乗車・下車あり

希望者には事前雇用(研修)あります!(平成26年1月から)

- 現在の就業規則に則り、事前相談・調整により事前雇用を行います(平成26年4月より新基準)